



栃の木からの手紙

2016年 8月号



小麦の収穫が始まりジャガイモ、玉ねぎ等の収穫が始まろうとしている収穫の秋。

自然農法の畑で秋播き小麦の収穫体験を行いました。5畝の面積の殆どは、名寄農場からの協力で収穫機を借りて普及員の方が収穫してくれましたが、手刈り収穫・はさ掛け体験は、農村の原風景により近い体験だったと思います。物事の基本は、本質的には変わらないのですが、その時代環境によって基本が変わっているのです。だから、より本質に近い基本を知ることは、生きる力。

8月 葉月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3日： 新月 ： 旧7月1日

5日：美幌町夏休み子どもキャンプ 協力
芋掘り体験・小麦収穫体験

6日：広島原爆の日

7日：立秋

9日：長崎原爆の日

12日：御巢鷹山慰霊の日（日航ジャンボ機墜落）

15日：終戦の日

18日： 満月 ： 旧7月16日

23日：処暑

7月15日 教育委員会の主催で 札幌国際大学 スポーツ人間学部スポーツビジネス学科教授 佐久間 章 氏を迎えて しゃきっとプラザ で「社会教育の推進」と題した講演が行われ、聴講してきました。 この中で、これは！と思った内容2点。

一つは、事業や活動を行う中で、参加者の人数を効果として捉えがちですが、大切なのは参加者に対してこちらの目的がどの様に反映されたのかを評価チェックする事。そして活動に反映する事。

二つ目は、鉄腕アトムと鉄人28号。あなたは、どちらのタイプの人創りを重視しますか？

2011年8月のアメリカ、デューク大学教授キャシー・デビッドソン氏の発表に言及。

① 働き方の未来予測

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在しない職業に就くだろう。」

② 21世紀型スキルが必要

今は存在しない職業への準備「21世紀型スキル」。それは、情報化によって生まれる“新しい職業”に適した“新しい教育”。

必要な能力① コミュニケーション力

必要な能力② 如何なる課題にも対峙する力（自分で判断し 行動する）

ねらいと期待効果 子ども… 自主性・生活力・協調性・規則正しい生活・生きる力

ねらいと期待効果 保護者… 子どもと地域のつながり、家庭教育について考えを深める機会

ねらいと期待効果 地域… 地域・ボランティア活動への参加意欲、子どもを地域で育む機運

7月16日(土)

家庭菜園セミナー 視察会

家庭菜園セミナーの第二弾として、家庭菜園で取り組んでいる様子を参加者8名で4軒視察させて頂きました。皆さんそれぞれの環境の中で、許される範囲で工夫して取り組んで自分の手で育てる体験に喜びを感じている様でした。

☆ きゅうり の曲がりについて



きゅうりの曲がり、肥料や水分が影響しています。ここでは、葉色が濃く縮れているので肥料分が多い様です。



☆ トマト のループ仕立て



トマトは普通、支柱を立てたり、上から紐で釣ったりして真っ直ぐに立てて誘引しますが、苗の周りに数本の支柱を立てて、その周囲を螺旋状に誘引していく方法もあります。この方法だと、収量が増える様です。

☆ 萎れた きゅうり が愛情で復活



寒さの為に萎れたきゅうり、左の苗でも愛情を掛けていたら復活しました。葉色が薄く養分不足なので、土10ℓに対して有機配合肥料を15g(大匙1杯程)シートを剥いで追肥しました。



☆ 苗の周囲、土の表面を覆っているシートは？

上の写真を見ると、苗の周囲を黒いシートと銀色のシートが覆っています。黒いシートで覆う事で、雑草が生えにくく、乾燥も防ぎます。また土の温度を高く保ちます。

銀色のシートは、アブラムシを寄せ付けない働きがあります。

7月30日(土) 高橋農場で小麦収穫・はさ掛け体験を行いました。

昨年、雑草対策試験として春に休閒緑肥の「キカラシ」を栽培して、それをすき込んだ跡に秋播き小麦「きたほなみ」を9月27日に播種しました。当時は、ダメなら緑肥として畑にすき込めば良いと考えていましたが、どうにか収穫できるまでに生育してくれました。そして、MOAインターナショナルが農林水産省から委託を受けた食育活動事業として「小麦収穫体験」を実施する事ができ、参加者の皆さんには農業と自然の一部を体感して頂けたと思います。



今回の試験でキカラシの雑草抑制効果が確認できました。更に、小麦栽培中にクローバーを生育させたら畑への養分供給にも繋がり、今後の課題となりました。